

産地市場における供給調整と独自流通の確立 (ネクトンLLP)

静岡県熱海市にある網代(あじろ)地方卸売市場では、近年の漁業者の減少とともに取扱量も減少し、それに伴い仲買人や加工業者の廃業が増加しました。そして、地域の仲買人や加工業者の減少は、地元での需要減、競争を低下させ、魚価を低迷させていました。

地域で最も水揚げのある定置網漁業者と、鮮魚販売のノウハウを持つ漁網メーカーでは、協同出資によりネクトンLLPを設立し、漁獲物の適正価格の調整役を担いました。ネクトンLLPでは、他の地域の水揚げや販売情報を基に最低落札価格を自ら設定し、漁獲物を産地市場に水揚げしています。仲買人が入札しなかった未落札分は全量をネクトンが引き受け、直接出荷販売しています。この水揚げと販売方法については、産地市場の協力を得て実施しています。

この取組みにより、魚価の向上と漁獲量の増大がなされたほか、市場流通ブランド名として「ネクトン」を確立し、多様な直接販売先を確保しています。

(出典:社団法人 大日本水産会発行 水産ビジネス事例集Vol.4 P30)



①選別作業風景 ②新たに導入した選別機

